

さがえ屋通信

お客様とのお縁を紡ぐおせんべい

霜月
2020.11.2

煎餅工房さがえ屋
通販事業部
山形県寒河江市
中央工業団地116
TEL: 0120-38-3324
FAX: 0120-05-3324

ネット店青柳のカメラ片手にご近所旅
山形市 宝珠山立石寺（通称：山寺）（撮影日2020年10月3日）

開山堂（右）と納経堂（左）から望む山里の景色

天空の古刹 宝珠山立石寺

宝珠山立石寺は山形市にある古刹。通称山寺と呼ばれています。山寺の歴史は古く創建は貞観二年（860年）慈覚大師が開いたと言われています。山寺はその名の通り山の中にあります。一つの山が修行と信仰の場となっています。麓の山門から「奥の院」まで約1000の段の石段が続き一段一段登る事で、煩惱が消えていくと言われています。山頂近くの断崖からせり出す五大堂。ここから見る景色はまさに絶景。疲れも忘れる程の景観が広がります。また山寺は俳聖・松尾芭蕉が訪れた事でも知られています。その時に詠んだ句が「閑さや岩にしみ入る蟬の声」奥の細道の中でも秀吟の詩として知られています。

五大堂からの絶景

早朝の 山寺を訪ねて

さがえ屋のお客様に誰もいない山寺の絶景をお届けしたい！そんな想いで早朝朝もやの山寺へ。本堂にお参りし、思惑通りの一番乗りで登山を開始。芭蕉の像に挨拶をして一段一段石段を登ります。爽やかな朝の冷気の中、一人げいせい言いながら汗まみれになってしまいました。しばし休憩。うっそうとした杉林と石段。鳥の鳴き声だけが私を包みます。プルプルする足に発破をかけ登ること約30分。仁王門が見えてきました。もう少し！百丈岩の上に立つ開山堂と納経堂。ほんのり色づいた紅葉が疲れを癒してくれます。さらに五大堂からの絶景！ここだけの時の流れが止まっているよう。秋の風が何よりも心地よい贅沢な時間を過ごしました。最終目的地奥の院でお参りし下山。疲労困憊ですが、山寺の魅力、お客様に伝えられたいと思います。

仁王門の紅葉も色づき始めました

